

SDLC 間の DLSw 設定例

目次

[はじめに](#)

[はじめに](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[設定](#)

[ネットワーク図](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

[はじめに](#)

このドキュメントでは、同期データ リンク制御 (SDLC) /SDLC 接続の DLSw のピアのいずれかの端のシリアル インターフェイス上でデータ リンク スイッチング (DLSw) を設定する場合の設定例を紹介します。

[はじめに](#)

[要件](#)

この設定を開始する前に、次の要件が満たされていることを確認してください。

- ルータが IBM 機能セットを実行していること。
- DLSw ピアが設定されていること。
- 接続の両端が SDLC をサポートするシリアル インターフェイスであること。

[使用するコンポーネント](#)

このドキュメントは、特定のハードウェアやソフトウェアのバージョンに限定されるものではありません。

[表記法](#)

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコ テクニカル ティップスの表記法](#)』を参照してください。

[設定](#)

この項では、このドキュメントで説明する機能の設定に必要な情報を提供します。

ネットワーク図

このドキュメントでは、次のネットワーク構成を使用しています。



設定

このドキュメントでは、次の設定を使用します。

- PU 2.0 接続
- PU 2.1 接続

PU 2.0 接続

Router A

```
dlsw local-peer peer-id 1.1.1.1  
dlsw remote-peer 0 tcp 1.1.1.2
```

int s 0

```
interface Serial2/0  
no ip address  
encapsulation sdlc  
no keepalive  
serial restart-delay 0  
sdlc role secondary  
sdlc vmac 4000.1000.0000  
sdlc address C1  
sdlc partner 4000.2000.00c1 C1  
sdlc dlsw default
```

Router B

```
dlsw local-peer peer-id 1.1.1.2  
dlsw remote-peer 0 tcp 1.1.1.1
```

interface Serial2/0

```
no ip address  
encapsulation sdlc  
no keepalive  
serial restart-delay 0  
sdlc role primary  
sdlc vmac 4000.2000.0000  
sdlc address C1  
sdlc partner 4000.1000.00c1 C1  
sdlc dlsw default
```

PU 2.1 接続

```
Router A

dlsw local-peer peer-id 1.1.1.1
dlsw remote-peer 0 tcp 1.1.1.2

int s 0
interface Serial2/0
  no ip address
  encapsulation sdlc
  no keepalive
  serial restart-delay 0
  sdlc role secondary
  sdlc vmac 4000.1000.0000
  sdlc address C1 xid-passthru
  sdlc partner 4000.2000.00c1 C1
  sdlc dlsw default

Router B

dlsw local-peer peer-id 1.1.1.2
dlsw remote-peer 0 tcp 1.1.1.1

interface Serial2/0
  no ip address
  encapsulation sdlc
  no keepalive
  serial restart-delay 0
  sdlc role none
  sdlc vmac 4000.2000.0000
  sdlc address C1
  sdlc partner 4000.1000.00c1 C1
  sdlc dlsw default
```

確認

このセクションでは、設定が正常に動作しているかどうかを確認する際に役立つ情報を提供しています。

- **show dlsw peer** : ピアの状態を表示します。
- **show dlsw reachability** : ローカルおよびリモート MAC アドレスの状態を表示します。
- **show dlsw circuit** : 回路の状態を表示します。
- **show int serial x/x** : インターフェイスの状態を表示します。

トラブルシューティング

ここでは、設定のトラブルシューティングに役立つ情報について説明します。

- 詳しくは、「[DLSw のトラブルシューティング](#)」を参照してください。